

アルストロメリア F₁ ジャジー™・シリーズ

穂挿しの品種に比べ作りやすく(Easy-To-Grow)、インドア・ポットプラントとしても戸外に置いても、その豪華な花立ちが見る人を魅了します。

■ ジャジー・シリーズは、インドア・ポットプラントとしてはもちろん、戸外のコンテナや花壇定植も可能なアルストロメリアです。

■ 矮性(草丈 25-40cm)、かつバランスのよい株をもったアルストロメリアです。大輪の鮮やかな3花色がそれぞれよく咲き揃います。

■ 少々気温が下がっても、株ができていればシーズンを通して花をもち続けるアルストロメリアです。

■ ジャジー・シリーズは、暖地であれば容易に宿根するアルストロメリアです。

■ ジャジー・シリーズを 20-30cm の大鉢に仕立てて、魅力的な付加価値の高い製品として、ハイグレードチャネルへの販売も視野へ入れましょう。

■ 強い直射日光は花色の退色を進めてしまうので、栽培管理は遮光下で行いましょう。

ジャジー・シリーズでは次の3つの花色が選べます：
ディープローズ：(濃ローズ地に黄色のセンター)
パープルローズ：(すっきりしたパープルローズの花弁)
ローズフロスト：(花弁のエッジがホワイトで中央に明るいローズがのります)

移植プログラム (200穴から50または72穴トレイへ)

■アルストロメリアを状態よく仕上げるためには、200穴トレイから直接仕上げ鉢に移植せず、一度72穴あるいは50穴のトレイへ仮植して、苗をじっくり生育させることが大切です。この作業は、200穴トレイの段階で根が回りすぎないうちに行ないましょう。

■夜温 16、昼間温度 18 の気温を維持しましょう。

■地温は 10-16 の間を維持しましょう。

■やや乾かしぎみのかん水を行います。苗を枯渇させないように注意しながら、しょう。

■土壌 pH5.5-6.3 を維持し、電気伝導度(EC 値)を 0.75mmhos/cm 以下にしましょう。

■ かん水と交互に、14-0-14 の比率の肥料が硝酸カルシウム・硝酸カリウム主体の肥料を 300ppm(窒素値)与えましょう。

■ この状態で 3-4 週ほど管理し、仕上げ鉢への移植を行います。

ポット上げから出荷まで

出荷鉢のサイズ

15cm あるいはそれよりも大きな鉢を選んで、植付けはポットあたり 1 本を基本としましょう。

培地

水はけがよく新しい衛生的な、土を含まない培地が最適です。初期栄養分はふつうで、土壌 pH5.5-6.0 を維持しましょう。

温度管理

夜温： 16

昼間音： 18

冬期に管理する場合、夜温 5 を下回ると生育遅れや株のでき方に影響がでます。

照度管理

60,000 ルクスが最適です。

日長による影響

ジャジー・シリーズは日長による開花等の影響は直接受けられないため、周年の栽培が可能です。ただし秋-冬栽培では、トータル栽培スケジュールは夏場に比べて 1,2 ヶ月遅れます。これは日長による影響というよりも、温度や照度といった要因による複合的な理由だと考えられます。

かん水

アルストロメリアについては、乾かし気味にかん水することがとても大切です。この植物は肉厚のごつごつした根系をもっており、根腐れを起こさせないように排水のよいポットの置場を作る配慮をしましょう。

肥料

かん水時に、20-10-20 と 14-0-14 の比率の肥料を 250-300ppm(窒素値)で交互に与えましょう。作業上、20-10-20 と 14-0-14 の交換が不可能な場合は 20-10-20 でも大丈夫ですが、初期は肥料濃度を 250ppm にして徐々に上げていきましょう。EC 値を 1.2 mmhos/cm (1:2)に維持するようにしましょう。2,3週に一度は EC 値をチェックして、1.4mmhos/cm を超えるような場合は真水かん水を行い、土中の塩類濃度を洗い流す必要があります。

草丈・節間の調節

丈の調節は薬剤等の処理に頼らずに行えればよりよいことはいうまでもありません。ジャジー・シリーズの場合、まず前述の温度管理(昼間温 18℃、夜温 16℃)が行えればバランスのよい丈に仕上がります。また根が育ち、ポットに根端が触れ始めてから、より乾かしながらかん水することで丈のサイズを抑制することができます。さらに、施肥の際にリンとアンモニウム態窒素を控えることでも丈の生長が抑えられます。

予想される一般的な生育障害:

害虫: アブラムシ、スリップス、ホワイトフライ

病気: ボトリティス、リゾクトニア菌、ピスリム菌

栽培スケジュール

200穴トレイから 72/50穴トレイ: 3-4週

15cmポット定植から開花まで:

9月-2月ポット定植: 17-20週

3月-7月ポット定植: 9-14週

ブリーダーからのアドバイス

■生産者へ

苗をいつまでも出荷トレイや移植トレイに放置しておく、根詰まりによる生育障害を起こします。この影響は後々まで引きずるので、苗の移植は必ず適切なタイミングで行いましょう。また地温を 16℃以下に維持することが、アルストロメリアの恒常的生理活性を維持する上でとても重要であることを覚えておきましょう。最低この2つを守っていただくことで、ジャジー・シリーズの商品価値が上がることは間違いありません。

■販売店へ

販売時にベストの品質を保つために、ジャジー・シリーズの置場を、店内の直射光のあたらないところか、屋外でも遮光下に配置しましょう。アルストロメリアは、直射日光により花色が褪せる傾向があります。また、弱った花や茎は根元から引っっこ抜いて手入をしましょう。くれぐれも途中で切っておしまいにならないように。そこから病気が発生することがあります。

■ご購入いただいたガーデナーへ

アルストロメリア・ジャジー・シリーズを長くお楽しみいただくため、涼しく日当たりのよいところに置いてください。ただし直射日光に延々とさらすと花色が褪せてくるので注意しましょう。ジャジー・シリーズを花壇など戸外で楽しめる場合は、半日陰の場所もしくは根元を敷藁、市販のマルチ等で覆い地温が上がりに過ぎないための配慮が必要です。また温度が 20℃を超えないようなところでは、ジャジー・シリーズは遮光をしなくても健康に育ちます。弱り始めた花や茎は根元から早めに摘み取ってください。途中から切るだけだと、そこから病気が発生することがあります。

PanAmerican Seed

PanAmerican Seed Co.

622 Town Road, West Chicago, Illinois, USA 60185-2698

630 231-1400 Fax: 630 231-3609 www.panamseed.com

© 2001 PanAmerican Seed Co. Printed In Japan